

第467回3月26日開催

出席委員（50音順・敬称略）

朝野 富三                    木下 明美

倉光 弘己                    黒田 勇

櫻井 美幸                    森 輝彦

書面参加

荒巻 裕

テレビ番組「せやねん！」

3月9日（土）午前10時～午後0時54分 放送分中心

倉光委員

個人的には、どうもこの手の番組は苦手である。ただ、トミーズ雅の成長ぶりは著しく、メインに起用したのは成功していると思う。不動産のコーナーは、やはり専門的なカウンセラーに評価してもらおうという演出も必要ではないか。子どもの「留守番」のコーナーは、ほのぼのした感じがよく出ていて正直救われる思いがした。

黒田委員

テレビはやはり半歩先を行くメディアだと思うので、お金を扱うのでも、もっとしゃれたセンスのある作り方があってもよいのではないか。トミーズ雅は、しゃべりは確かにうまいが、もう少し自分を離れた所から笑いを取ることも考えたほうがよいと思う。一方、未知やすえは吉本のタレントとしては、露悪的な所もなく非常にいい雰囲気出演者の中でもひとときわ光っていた。

木下委員

普段あまりこういった番組を見ないので、新鮮な異文化として大変におもしろく、最後まで真剣に見てしまった。

また、局への批判的な話題を楽屋ネタのようにおもしろく聞かせるのは、「ちちんぷいぷい」で成功しているノウハウがこの番組にも、うまく生かされているからではないか。

朝野委員

「関西のおばちゃん」の心をくすぐるという番組の狙いは成功していると思う。お金や食べ物をテーマにすることは、視聴者の共感を得る手っ取り早い方法だが、関西ならではのもう少し違う作り方を工夫すれば「おじちゃん」の心もつかめるのではないか。また、4月から学校が完全週休2日制になるが、家族の過ごし方の変化に合わせた番組のあり方も考える必要があると思う。

櫻井委員

最初の「お金」のコーナーは、だらだらした世間話を聞かされているようで違和感を覚えた。それに比べ、「不動産」のコーナーは、非常に勢い

があって、あそこまで突き抜けてしまうと、ただ単純に「おもしろいな」と思ってしまった。他のコーナーにも、元気のよさは感じられ全体としては楽しかった。

森委員長

生活に根ざした興味深い情報を視聴者に提供するという番組のコンセプトは非常に評価できる。このコンセプトは「ちちんぷいぷい」とともに、やがてはMBSの局のイメージ、つまりブランドにもつながっていくと思う。ただイメージというものは、良い方にも悪い方にも振れるものなので、今後そこをしっかりと押さえながら行ってほしい。

荒巻委員（書面）

とことんお金にこだわった番組で、いかにも大阪らしい番組だ。ただ、紹介される不動産が本当に良質な物件なのかという点が少し気になった。お金は大切なものだが、欲と表裏一体なので、今後も慎重かつ大胆に、お金にこだわった良い番組作りを続けて行ってほしい。

ラジオ・テレビの4月編成について

ラジオ・テレビの春の新編成の概要と特徴について担当局長が報告した。

テレビ番組「ドラマ30」10周年について

午後の連続ドラマ「ドラマ30」が10周年を迎えたことについて制作局長が報告した。

なお、毎日放送番組審議会では、正副委員長の再任も含め、平成13年度委員8名が再任された。